

海外安全対策情報（２０２１年１月～３月）

１ 社会・治安情勢

ウガンダでは、携帯電話の窃盗や夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生しており注意が必要です。特に、夕方以降暗い時間帯の徒歩移動、人通りが少ない路地、外国人が少ない地区などは犯罪に巻き込まれやすいので避けてください。オレオレ詐欺に類似した事件も発生しており注意が必要です。

新型コロナウイルスの感染状況は新規感染者が日々２０件程度と落ち着いていますが、町中ではマスクをしていない者も多く、感染予防のためにローカルマーケットなど人通りが多いエリアへの立ち入りは極力控える事をお勧めします。

２０２０年１１月１８日、大統領選挙のキャンペーン中に野党大統領候補者が逮捕され、逮捕に反対するデモがウガンダ各地で発生し、５０数名の死亡者が発生しました。その後、現大統領が再選し状況は落ち着いていますが５月に予定されている大統領就任式に向けて注意が必要です。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪

（１）邦人被害事案

（ア）オレオレ詐欺被害

２月１１日昼頃、カンパラ市キセメンティ地区において、隣人を装った詐欺事件が発生しました。

（イ）住居侵入、窃盗被害

３月４日明け方、カンパラ市コロロ地区アパート３階にある住居において、就寝中に窓枠を外し室内へ侵入され現金と携帯を窃取されました。

（２）その他

モロト県やナカピリピリ県などのカラモジャ地区において牛泥棒と治安当局間で銃撃戦となり死者が多数出ています。

３ テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は２０１０年７月以降発生していません。しかし、２０１９年４月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危

機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上